

平成27年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
林産部門

高密度路網と機械化による低コスト化と人づくりを重視した林業経営

○氏名又は名称 永田 晶三

○所在地 奈良県吉野郡下市町

○出品財 経営（林業経営）

○受賞理由

・地域の概要

永田氏の経営する森林の主たる所在地である天川村は、奈良県のほぼ南半分を占める吉野郡の中央部、吉野山地の中心に位置している。「近畿の屋根」とされる大峯山系が本村の東部に連なり、西端は天ノ川の流出口になっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

急峻な地形に対応した146m/haに及ぶ作業道を平成4年から計画的に開設し、奈良県で最も早くハーベスタを導入するなど、低コスト化を積極的に進めるとともに、優良材生産に向けて長伐期施業（原則100年生以上で伐採）を基本とし、早期枝打ち、頻度の高い間伐を行っている。また、若手林業従事者の育成や架線技術の伝承に取り組み、周辺の森林所有者と連携して森林経営計画を積極的に策定する等、林業経営の牽引役として大きな役割を果たしている。

・受賞者の特色

(1) 低コスト化と技術の伝承の両立

急峻な地形に対応した作業道の整備と林業機械の導入に架線集材を組み合わせることにより、省力化、低コスト化に取り組むとともに人材育成と技術の伝承を行なっている。

(2) 高品質な吉野材の生産

伝統的な吉野林業の特徴である長伐期施業を基本とし、早期枝打ちを行い、弱度の間伐を繰り返すことで公益的機能の維持・増進を図りつつ、高品質で優良な吉野材を生産している。

(3) 地域に根ざした森林・林業

周辺の森林所有者と連携して森林経営計画を作成し、施業の集約化を促すなど、林業経営の牽引役として大きな役割を果たしている。

・普及性と今後の発展方向

「人づくり」を重視し、職場づくりに取り組み若い林業技術者を確保・育成するとともに、技術の継承を継続的に実施している。また、自己所有山林周辺の森林所有者と連携して森林経営計画を積極的に作成するなど、地域の林業経営の牽引役となっている。